

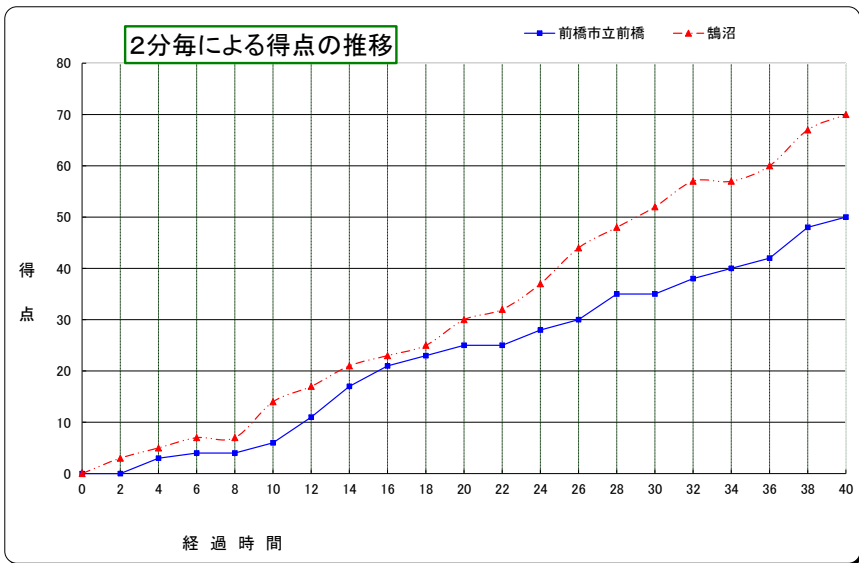
令和5年度 第34回関東高等学校 バスケットボール新人大会

令和6年2月3日(土)
カミケンシルドーム
1回戦

チームA				チームB
前橋市立前橋 (群馬)	50	{	6 1st 14 19 2nd 16 10 3rd 22 15 4th 18	70
		}		鶴沼 (神奈川)

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	戸塚 妃莉	30	4	14	7	11	4	6	2		4	3	1		10
5	吉田 海愛	4	0	5	1	9	2	2	5		1	2			4
6	瀧本 真莉亜	2			1	4	0	2	3	4	3	1	1	1	1
7	佐俣 萌果	6	1	2	1	5	1	2	2	2	3	2			6
8	戸谷 夢姫	0	0	1	0	1			1			1			2
9	佐々木 愛心	4	0	1	2	4			1	1					2
10	関口 いろは	0			0	1			1		1				1
11	山内 千聖	4			2	2			4	1	7	2			2
12	松井 瑠花	0													
14	瀧澤 悠	0													
15	石黒 樹果	0													
16	宮下 珠真	0													
17	黒澤 美葵	0													
18	高橋 芽生	0													
コーチ	赤石 和子														
		50	5	23	14	37	7	12	19	8	19	11	2	1	28
		確率	21.7%		37.8%		58.3%			計 27					

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	青木 七彩	17	1	7	6	12	2	2	2	4	4	3		3	2
5	小石川 凜	4	1	6			1	2	2		1	1			1
6	竹部 心羽	0													
7	鈴木 葉奈	14	0	1	5	10	4	5	3	3	6	1	1		3
8	竹内 なつ	12	0	2	4	8	4	6	3	1	5	4	1	1	4
9	浅沼 はな	5	1	1	1	1				1		1			2
10	恵 悠衣	6	1	3	1	2	1	2	3	2	3	3			1
11	三浦 仁胡	8	0	3	2	4	4	6		1	4	2		1	1
12	立川 美唯菜	0													
13	阿部 小雪	0													
14	榎 菜理	0													
15	古田 育愛	0			0	1									
16	廣瀬 優菜	0													
17	大矢 夏音	4	0	1	2	10				1	1	3			3
18	吉澤 凜	0													
コーチ	細木 美和子														
		70	4	24	21	48	16	23	13	13	24	18	2	5	17
		確率	16.7%		43.8%		69.6%			計 37					



戦評

第1Q市立前橋4, 5, 6, 7, 11 鶴沼4, 7, 8, 10, 11お互いにマンツーマンで始まる。立ち上がり緊張からお互いミスが続くがお互いのバスケットを徹底しようと選手は一生懸命コート駆け回る。シュートがリングに嫌われるが鶴沼はボールマンにプレッシャーをかけ、相手のミス誘う。その中で鶴沼#7の3Pから始まる。対する市立前橋もシュートがリングに嫌われる時間帯が続くが、力強いディフェンスリバウンドから走ることを徹底する。市立前橋は#4の3Pや1対1を中心に攻め、相手のファールを誘いフリースローを獲得して得点を重ねた。

第2Q市立前橋4, 5, 6, 7, 11 鶴沼4, 5, 7, 8, 10。出だしは市立前橋は#4のジャンプシュート、鶴沼は#7のオフェンスリバウンドでファールを誘い、フリースローを獲得する。次第に鶴沼のボールマンやレシーバーに対してのディフェンスプレッシャーが強くなり、市立前橋はミスが増えてしまう。しかし#4の1対1や#5のジャンプシュートで得点差をつめていく。対する鶴沼は#7のゴール下、#17の1対1、#8のドリブルインシュートで得点差を離れていく。得点が離されそうになると市立前橋#4が1対1を仕掛け相手のファールを誘い、フリースローを確実に決めていく。市立前橋#5もシュートファールを誘い、フリースローで得点をしていく。鶴沼はオールコートマンツーマンでプレッシャーをかけ、相手のミス誘い連続得点をする。そこで市立前橋は流れを変えるためにタイムアウトを請求し、次のプレーで#7がドライブインシュートを決め、ベンチの期待に応える。ここからはお互いに譲らず市立前橋#4、#7、鶴沼#8、#9が3Pを決めるが鶴沼のファールが多くなり相手にフリースローを与えてしまう。市立前橋はこれを#7が2本決めて25対30鶴沼リードで前半を終える。

第3Q市立前橋4, 5, 6, 7, 11 鶴沼4, 5, 7, 8, 10。出だしで市立前橋はボール運びのミスをしてしまう。ここで鶴沼#7ペイントエリアの1対1、#4の3Pで得点差を広げる。続いて#8のドライブインシュートも決まり、得点差が12点差になる。しかし市立前橋は#4の3Pとリバウンドシュートでくいついていく。しかし鶴沼の勢いは止まらず、ディフェンスの強度も上がっていく。#4、#8のレイアップシュート、#11のジャンプシュートも決まり、14点差になる。ここで市立前橋は再び#4の3Pとバスケットカウントで簡単に離されない。対する鶴沼も終盤に#4のジャンプシュートが決まり、得点差をつけた。

第4Q市立前橋4, 6, 7, 9, 10 鶴沼4, 5, 7, 8, 10。最終Qになっても市立前橋は#4の3Pや1対1を中心に攻めるが、鶴沼のディフェンスのプレッシャーが強くなった通りに攻めることができない時間が続いてしまう。ここで市立前橋#7が頭部を強打してしまい交代になってしまいが、タイムアウト明けの最初のオフェンスで市立前橋#6が1対1からドリブルインシュートを決め、仲間の分まで戦う姿勢を見せる。さらに24秒オーバータイムを誘うなど最後まで諦めることなく走り続ける。対する鶴沼は#4が落ち着いたプレーでフリースローを獲得するなど相手の追撃を許さない。#10の3Pやインターセプトから#11がシュートを決め、市立前橋がタイムアウトを請求する。ここから市立前橋#4のドライブインシュートが決まり粘りを見せるが、1試合を通して鶴沼のプレッシャーのあるディフェンスが市立前橋を苦しめた。市立前橋も走るバスケットを徹底し、足を止めることがなかった。試合は50対70で鶴沼の勝利となったが、お互いに最後まで諦めず高校生らしいバスケットであった。

Ref	佐田 幸一	1st U	岡 龍哉	2nd U	中田 愛
-----	-------	-------	------	-------	------